

特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

（法第12条、法施行規則第56条）

〔PCT36条及びPCT規則70〕

出願人又は代理人 の書類記号 PCT-04T-144	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/J P 2004/005181	国際出願日 (日.月.年) 09.04.2004	優先日 (日.月.年) 22.04.2003
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. ⁷ D06F33/02, 23/02, 39/08		
出願人 (氏名又は名称) シャープ株式会社		

<p>1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第57条（PCT36条）の規定に従い送付する。</p> <p>2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。</p> <p>3. この報告には次の附属物件も添付されている。</p> <p>a. <input checked="" type="checkbox"/> 附属書類は全部で 1 ページである。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙（PCT規則70.16及び実施細則第607号参照）</p> <p><input type="checkbox"/> 第I欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙</p> <p>b. <input type="checkbox"/> 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。（実施細則第802号参照）</p>	
<p>4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第I欄 国際予備審査報告の基礎</p> <p><input type="checkbox"/> 第II欄 優先権</p> <p><input type="checkbox"/> 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成</p> <p><input type="checkbox"/> 第IV欄 発明の単一性の欠如</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明</p> <p><input type="checkbox"/> 第VI欄 ある種の引用文献</p> <p><input type="checkbox"/> 第VII欄 国際出願の不備</p> <p><input type="checkbox"/> 第VIII欄 国際出願に対する意見</p>	

国際予備審査の請求書を受理した日 01.09.2004	国際予備審査報告を作成した日 06.07.2005		
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/J P) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 山田 由希子	3 K	3 0 2 3
電話番号 03-3581-1101 内線 3332			

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (2004年1月)

第 I 欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

☐ この報告は、_____ 語による翻訳文を基礎とした。
それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。

- ☐ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査
☐ PCT規則12.4にいう国際公開
☐ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 1-39 _____ ページ、出願時に提出されたもの

第 _____ ページ*、_____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ ページ*、_____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 3-5 _____ 項、出願時に提出されたもの

第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの

第 1, 2 _____ 項*、01.09.2004 付で国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ 項*、_____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 1-14 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの

第 _____ ページ/図*、_____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ ページ/図*、_____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ

☐ 請求の範囲 第 _____ 項

☐ 図面 第 _____ ページ/図

☐ 配列表(具体的に記載すること) _____

☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 _____ ページ

☐ 請求の範囲 第 _____ 項

☐ 図面 第 _____ ページ/図

☐ 配列表(具体的に記載すること) _____

☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲 1-5	有
	請求の範囲	無
進歩性 (IS)	請求の範囲 2-4	有
	請求の範囲 1, 5	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 1-5	有
	請求の範囲	無

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

請求の範囲 1, 5

文献1: JP 2001-276484 A (東陶機器株式会社)

2001. 10. 09 全文 第1-5図

には、金属イオンを溶出して水に添加するイオン溶出手段を含み、処理剤として、金属イオン添加水を供給する洗濯機が記載されている。

文献2: 日本国実用新案登録出願54-151219号(日本国実用新案登録出願公開56-69372号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム(東京芝浦電気株式会社)

1981. 06. 09 全文 第1図

には、処理剤の供給後に実行される脱水回転時にアンバランスを検知した場合に、処理剤の非供給時におけるアンバランス検知時とは異なり、給水をせずに手でアンバランスを修正する洗濯機が記載されている。

文献3: JP 2001-9188 A (シャープ株式会社)

2001. 01. 16 段落【0036】 第2図

には、回転軸が鉛直方向に対して交差するように配置されるドラムを有する洗濯機が記載されている。

人が手動で行っている動作を機械に自動で行わせることは、一般になされていることであるから、文献1に記載された発明において、文献2に記載された発明を適用する際に、処理剤の供給後に実行される脱水回転時にアンバランスを検知した場合に、処理剤の非供給時におけるアンバランス検知時とは異なり、給水をせずにアンバランスを修正する動作を機械に自動で行わせることは、当該技術分野の専門家にとっては自明のものである。

文献1に記載された発明において、文献3に記載されたドラムの形状を適用することは、当該技術分野の専門家にとっては自明のものである。

補充欄

いずれかの欄の大きさが足りない場合

第 V.2 欄の続き

請求の範囲 2-4

文献 2 : 日本国実用新案登録出願 54-151219 号 (日本国実用新案登録出願公開 56-69372 号) の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム (東京芝浦電気株式会社)

1981.06.09 全文 第 1 図

は、当該技術分野における一般的技術水準を示す文献であって、処理剤の処理効果が失われてしまうことを防ぐために、処理剤の供給後に実行される脱水回転時にアンバランスを検知した場合に、処理剤の非供給時におけるアンバランス検知時とは異なり、給水をせずに手でアンバランスを修正する洗濯機が記載されているが、金属イオン添加水を収容槽に供給して攪拌を行うバランス修正すすぎを実行する技術に関しては、国際調査報告で列記した文献のいずれにも、記載も示唆もされていない。

請求の範囲

1. (補正後) 洗濯物が収容される収容槽と、
金属イオンを溶出して水に添加するイオン溶出手段とを含む洗濯機であって、
上記収容槽の回転時のアンバランスを検知する検知手段と、
上記イオン溶出手段から上記収容槽に供給される金属イオン添加水の供給後に実行される上記収容槽の脱水回転時に上記検知手段が上記収容槽のアンバランスを検知した場合に、上記金属イオン添加水の非供給時におけるアンバランス検知時とは異なるアンバランス修正処理を実行することにより、上記アンバランスを修正するアンバランス修正手段とをさらに含んでいることを特徴とする洗濯機。
2. (補正後) 請求の範囲 1 に記載の洗濯機であって、
上記異なるアンバランス修正処理は、上記金属イオン添加水を上記収容槽に供給して攪拌を行うバランス修正すすぎであることを特徴とする洗濯機。
3. 請求の範囲 2 に記載の洗濯機であって、
上記アンバランス修正手段は、上記バランス修正すすぎにおける上記収容槽への上記金属イオン添加水の供給量を、それ以前の工程における上記金属イオン添加水の供給量よりも少なくすることを特徴とする洗濯機。
4. 請求の範囲 2 に記載の洗濯機であって、
上記アンバランス修正手段は、上記バランス修正すすぎにおける上記収容槽への上記金属イオン添加水の金属イオン濃度を、それ以前の工程における上記金属イオン添加水の金属イオン濃度よりも少なくすることを特徴とする洗濯機。

CLAIMS

1. (Amended) A washing machine comprising: a laundry tub in which laundry is put; and

ion eluting means for eluting metal ions and adding them to water,

wherein the following are further included: sensing means for sensing imbalance at the time of rotation of the laundry tub; and

imbalance correcting means for, in a case where imbalance in the laundry tub is sensed by the sensing means at the time of spin-drying rotation of the laundry tub performed after metal ion added water supplied from the ion eluting means to the laundry tub is supplied, correcting the imbalance by performing an imbalance-correcting processing different from a processing performed when imbalance is sensed in a case where the metal ion added water is not supplied.

2. (Amended) A washing machine according to claim 1,

wherein the different imbalance-correcting processing is balance correction rinsing in which the metal ion added water is supplied to the laundry tub and agitation is performed.

3. A washing machine according to claim 2,

wherein the imbalance correcting means sets an amount